

広報

10

Oct.2023
vol.646



みんなで確認！交通ルールとマナー

[佐川急便による交通安全教室]



献上桃の郷。
桑折町
こおりまち

令和6年4月から、リサイクル強化のために 家庭ごみの収集日程が変わります！

ごみ出しは、ルールとマナーを守りましょう

地域に設置してあるごみ収集所は、町内会が管理しており、地域の皆さんが共有で使う場所です。収集ルールが守られていないごみは回収できないため、収集所に放置されます。他人に迷惑をかけないようルールとマナーを守りましょう。

指定袋には
排出者名を書く



収集日程と
排出時間を守る



プラ・ペットボトル
ビン・カンはず
水ですすぐ



車や歩行者の
妨げにならないよう
道路にはみ出さない



▲収集日程を守らずに出されたごみ。収集所に放置され、スペースをふさぎ、他の利用者の迷惑となります。



▲道路にはみ出し通行の妨げとなる粗大ごみ。大量にある場合は、伊達地方衛生処理組合へ直接持ち込みましょう。

分別に迷ったら…

町公式LINE▶



伊達地方衛生
処理組合
ホームページ▶



で簡単検索！

voice 収集所は、ルールとマナーを守り、皆で気持ちよく利用しましょう

「分別されていないごみが放置されている」「氏名が書かれていないごみ袋が排出されている」「草刈りごみが大量に出されている」などの問い合わせが頻りに寄せられ、近隣トラブルになる事例も見受けられます。ごみの分別に迷ったときは、ごみ収集カレンダーや町公式LINE、伊達地方衛生処理組合のホームページで簡単に確認できますので、マナーやルールを守り、皆が気分よく利用できるようご協力ください。

皆さんのお力により、令和5年度は、前年度と比較して排出量は減少傾向です。引き続き、できることから少しずつご協力をお願いします。



生活環境課
衛生担当 熊田智徳

ごみ減量化のための補助制度

町では、ごみ減量化を進めるため、補助金や報奨金制度を用意しています。ぜひ活用をご検討ください。(詳しくは、生活環境課 ☎ 582-2123 まで問い合わせください)

電動生ごみ処理機購入費補助

生ごみの乾燥やたい肥化する電動生ごみ処理機。生ごみの嫌なニオイを防ぎ、ごみの量を約10分の1まで減量できます。



補助

生ごみ処理機購入費用の
1/2 (上限 15,000 円)

資源回収団体報奨金

町内会などの地域団体が自主的に資源物(新聞・雑誌、ダンボール、ビン、カンなど)を回収した際に、報奨金を支給します。



報奨

資源回収業者引き渡し量
1kg 5 円

火曜日「もやせるごみ」▶▶▶「古紙・紙」になります

現在の収集日程

地区	月	火	水	木	金	土
桑折(追分)	もやせるごみ	もやせるごみ 第1 粗大ごみ	びん・ペット もやせないごみ	プラ容器包装	もやせるごみ	第1 第3 古紙・紙
陸合 伊達崎 半田	もやせるごみ	もやせるごみ 第3 粗大ごみ	プラ容器包装	びん・ペット もやせないごみ	もやせるごみ	第2 第4 古紙・紙

令和6年4月からの収集日程

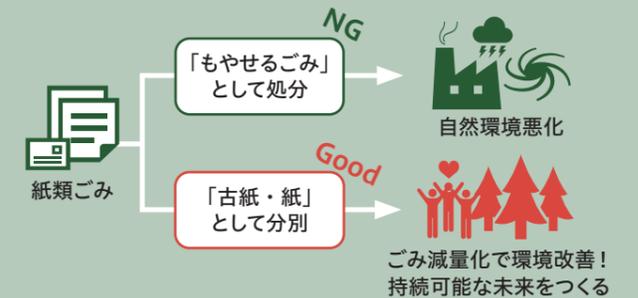
地区	月	火	水	木	金	土
桑折(追分)	もやせるごみ	古紙・紙 第1 粗大ごみ 第3 収集なし	びん・ペット もやせないごみ	プラ容器包装	もやせるごみ	収集なし
陸合 伊達崎 半田	もやせるごみ	古紙・紙 第1 収集なし 第3 粗大ごみ	プラ容器包装	びん・ペット もやせないごみ	もやせるごみ	収集なし

紙類ごみは「古紙・紙」収集日に出しましょう

！ 紙は、原料として再利用！

不要になった紙を安易に「もやせるごみ」として処分することは、森林資源の浪費につながり、自然環境の更なる悪化を招きます。「つくる責任 つかう責任 (SDGs 目標 12)」の理念のもと、紙を原料として再利用する取り組みを推進します。

令和6年4月からごみ収集日程の見直し

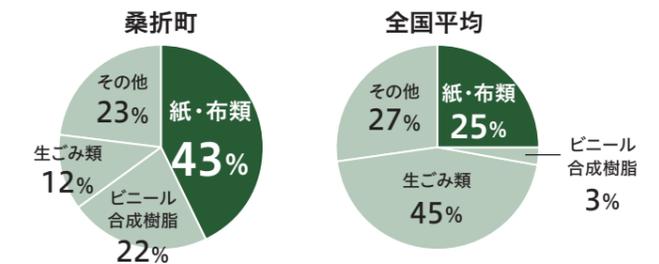


1人1日あたりのごみ排出量



令和4年度の町民1人1日あたりのごみの排出量は1,281g。全国平均の890gと比較すると391gも多い状況です。昨年3月の地震による片付けごみの影響もありますが、分別の不徹底も大きな要因です。

もやせるごみの内訳

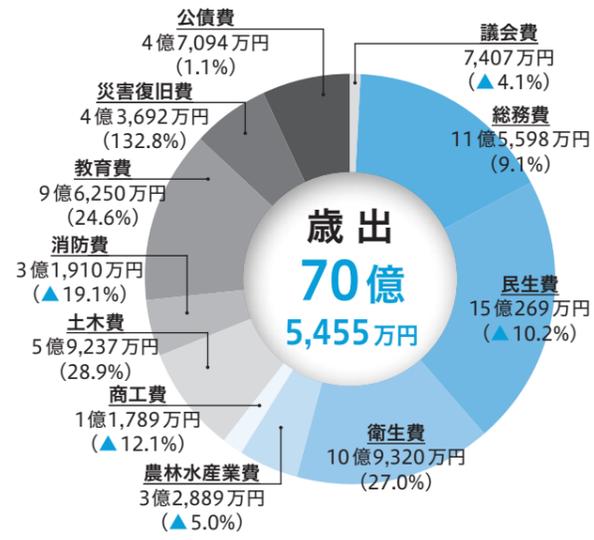


排出量の80%を占めるもやせるごみは、伊達地方衛生処理組合で大量のエネルギーを使って焼却されます。町では、排出されるもやせるごみの内43%が紙・布類で、全国平均25%と比較しても非常に高く、特に紙類の分別が進んでいないことがわかります。

歳出の特徴

本県沖地震関連の事業などにより、**歳出総額は増加しました。**

子育て世帯への臨時特別給付事業などの完了により民生費が減少した一方で、令和4年3月の本県沖地震により被災した昭和大橋や伊達崎小学校などの復旧、災害廃棄物処理事業（被災家屋公費解体）による災害復旧費の増加、昭和大橋の防災減災対策強化事業や町道107号線道路修繕事業などによる土木費の増加、小中学校蓄電池更新事業などによる教育費の増加により、歳出総額は増加しました。



※（ ）前年度比増減率

性質別歳出内訳 ※（ ）前年度比増減率

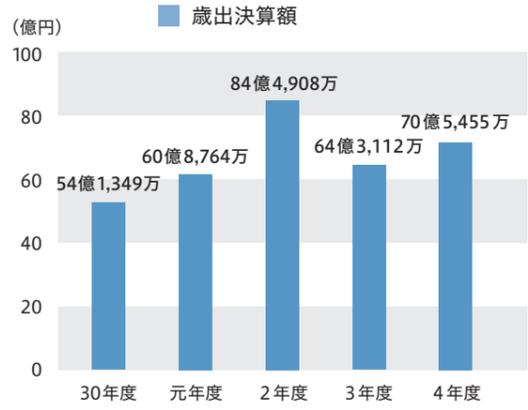
33.8% (▲6.8%)	義務的経費 23億8,294万円 人件費 12億9,644万円 扶助費※1 6億1,387万円 公債費 4億7,263万円 ※1 児童・高齢者・障がい者・生活困窮者を福祉の面で支えるお金
21.0% (6.8%)	投資的経費 14億8,468万円 普通建設事業費 6億5,609万円 災害復旧事業費 8億2,859万円
45.2% (0.0%)	一般的経費 31億8,693万円 物件費 12億7,779万円 繰出金※2 6億9,864万円 補助費など 7億6,205万円 その他 4億4,845万円 ※2 一般会計から他会計や各種基金へ繰り出すための経費

町民1人あたりの歳出決算額

費目	決算額	対前年度増減額
民生費	135,061円	▲12,740円
総務費	103,899円	10,263円
衛生費	98,257円	22,209円
教育費	86,509円	18,282円
公債費	42,328円	1,178円
土木費	53,242円	12,645円
消防費	28,680円	▲6,164円
農林水産業費	29,560円	▲1,010円
災害復旧費	39,270円	22,693円
商工費	10,596円	▲1,248円
議会費	6,657円	▲169円
諸支出金	0円	0円
合計	634,059円	65,939円

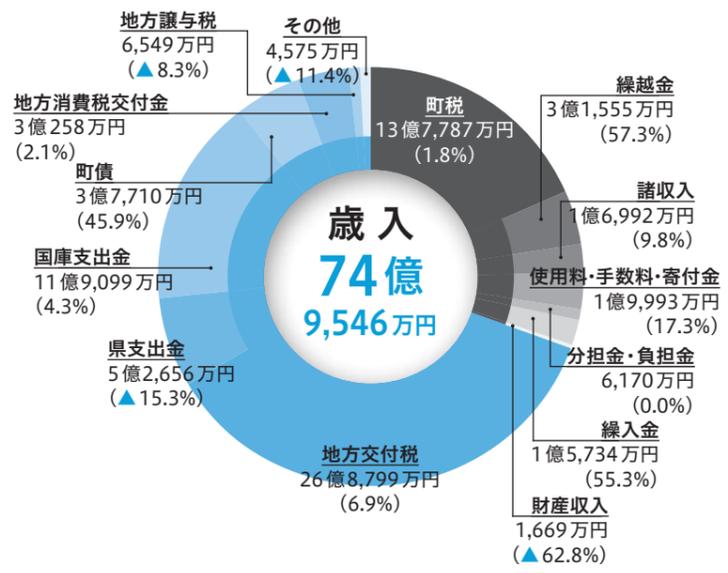
※令和5年3月31日現在の人口11,126人をもとに算出

歳出決算額の推移



用語の説明

【一般会計】 福祉や教育、土木といった一般的な事業に使われ、町の事業の基本となる会計	【繰入金】 各種基金や他会計から一般会計へ繰り入れるお金
【自主財源】 町税や使用料など、町が自主的に収入できるお金	【地方交付税】 自治体の財政力に応じ、国から交付されるお金
【依存財源】 地方交付税など、国や県の意思によって額が決まられ、割り当てられるお金	【国庫・県支出金】 特定の目的のために、国や県から交付されるお金
【町税】 住民が町に納める税金	【町債】 国や銀行などからの借入金
	【公債費】 町債の返済に使うお金



歳入の特徴

地方交付税は、**26億8,799万円**となり、**前年度比1億7,460万円増加**しました。

県支出金が、除染廃棄物搬出作業や仮置場解体などの公共施設除染事業の完了により減少した一方で、普通交付税は、消防団員報酬に対する措置の拡充や国税収入が増えたことにより増加。また、特別交付税や国庫支出金、町債は、令和4年3月の本県沖地震に係る災害復旧事業により増加しました。

町民1人あたりの町税負担額	123,842円	前年比 +4,249円
---------------	-----------------	--------------------

※令和5年3月31日現在の人口11,126人をもとに算出

令和4年度 桑折町の

決算とは、皆さんが納付した税金や、国や県からの補助金・交付金などがいくら入ってきて、どのような目的で使ったかを明らかにする「町の家計簿」のようなもので、町の1年間のおゆみ・記録となります。

決算

決算は黒字

新総合計画「献上の郷こおり 未来躍動プラン」の初年度となった令和4年度。ウィズコロナ・アフターコロナ時代を見据え、町民のコミュニティ再生はもとより、社会経済活動の活性化に向けた取り組みを一層強化しなければならぬこととなることから、新総合計画の着実なスタートを切るため、6つの視点に立つ「6惠6幸こおり 未来プラン」を念頭に、「活力と賑わいに満ちたまちづくり」「危機管理に備えた安全・安心のみちづくり」など6つの重点項目に予算を優先配分し、「みんなが幸せを実感できる元気なまち こおり」の実現を目指して各種事業を執行しました。

その結果、歳入総額74億9,546万円（前年度比6.4%の増）、歳出総額70億5,455万円（前年度比9.7%の増）、歳入歳出差引額は、4億4,091万円となりました。このうち、やむを得ず翌年度繰越事業となった財源705万円を差し引いた4億3,386万円が剰余金となり、決算は黒字でした。剰余金のうち、2億2,000万円を財政調整基金に積み立て、残り2億1,386万円を翌年度へ繰り越しました。

予算の執行にあたっては、事業の重点選択と諸経費の節減・合理化を図り、国や県の補助金など特定財源を確保しながら、財源の重点的かつ効果的な配分を行い、健全な財政運営に努めました。

特別会計決算

会計区分	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	13億4,700万円	12億9,497万円	5,203万円
後期高齢者医療	1億9,029万円	1億8,508万円	521万円
介護保険	16億6,546万円	15億1,078万円	1億5,468万円
公共下水道事業	2億9,864万円	2億8,305万円	1,559万円

水道事業会計

会計区分	収入	支出	差引額
収益的収支	3億7,048万円	3億3,020万円	4,028万円
資本的収支	—	1億538万円	▲1億538万円

※資本的収支の不足額1億538万円は、留保資金および地方消費税資本的収支調整額などで補てんしました。

各種基金の残高 (令和4年度末)

会計区分	基金名	残高
一般会計	財政調整基金	14億2,057万円
	減債基金	1億3,375万円
	その他特定目的基金	9億6,863万円
	土地開発基金	1億2,021万円
	その他定額運用基金	8,000万円
合計		27億2,316万円
国民健康保険	国民健康保険基金	8,409万円
介護保険	介護給付費準備基金	1億1,915万円
半田財産区	財政調整基金	1,836万円

令和4年度 町財政の
「健全化判断比率」
「資金不足比率」
「経常収支比率」

実質公債費比率・将来負担比率ともに基準値内であり、
財政の健全性が保たれている 状況です。

(単位：%)

区分	2年度	3年度	4年度	
健全化判断比率	実質赤字比率 (15.0)	-	-	-
	連結実質赤字比率 (20.0)	-	-	-
	実質公債費比率 (25.0)	9.6	9.2	9.2
	将来負担比率 (350.0)	36.6	14.0	5.4
資金不足比率 (20.0)	水道事業会計	-	-	-
	公共下水道事業特別会計	-	-	-
経常収支比率	88.0	88.1	87.6	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率および資金不足比率は、赤字や資金不足になっていないため、「-」で記載しています。()内は早期健全化基準。これを超えた場合、財政健全化団体(黄信号)として、自主的・計画的な改善が義務付けられます。

※1 標準財政規模…その地方公共団体が標準的な行政活動を行う上で通常見込まれる一般財源(用途の特定がない財源)の規模【桑折町はおおむね38億円程度】

財政健全化法に基づく指標として、健全化判断比率、資金不足比率がありますが、そのうち、実質公債費比率、将来負担比率は基準値内であり、公営企業(水道・公共下水道事業)会計の資金不足比率も資金不足がないことから、財政の健全性が保たれています。実質公債費比率は、令和3年2月本県沖地震災害復旧事業に係る借入に伴い、元利償還金が増加したことで単年度では増加したものの、3か年度平均で見ると、増減はありませんでした。将来負担比率は、町債償還が着実に進展し借入金残高が減少したことなどにより8.6ポイント減少しました。

実質公債費比率

一般会計などが負担する地方債償還金(借金の返済)の標準財政規模※1に対する割合の3か年平均値。町が年間どのくらいを借金返済に充てているかを指標化したもの。家計に例えれば、借金返済額の年収に占める割合。

将来負担比率

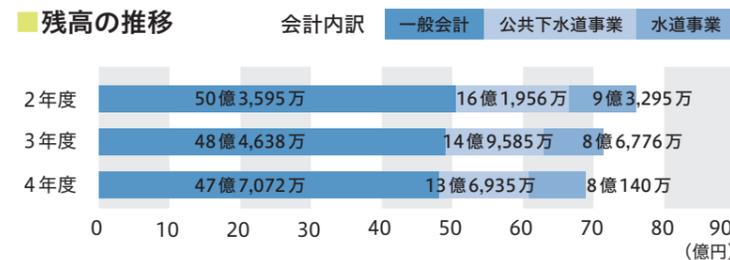
一般会計などが将来負担する実質的負債の標準財政規模※1に対する割合。将来負担見込額から基金などを控除したものが年間収入の何%に相当するかを指標化したもの。家計に例えれば、借金残高の年収に占める割合。

経常収支比率

経常的経費(人件費や扶助費など)の経常的に収入される一般財源に対する割合。財政構造の弾力性を指標化。比率が低いほど新規事業に充てられる。家計に例えれば、生活費など固定費の給料に占める割合。4年度県市町村平均は89.4%。

町債の状況

町債残高は、実質公債費比率と将来負担比率に大きく関わってきます。右記のグラフは、過去3年間の各会計の推移です。



令和4年度末 町債などの残高

会計区分	3年度末残高(A)	4年度借入額(B)	4年度償還元金(C)	4年度末残高(A)+(B)-(C)	
町債	一般会計	48億4,638万円	3億8,099万円	4億5,665万円	47億7,072万円
	公共下水道事業特別会計	14億9,585万円	3,180万円	1億5,830万円	13億6,935万円
企業債	水道事業会計	8億6,776万円	-	6,636万円	8億140万円

令和4年度

主な使いみち

「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」に基づき、健全な財政を保ちながら、桑折町らしいまちづくりに取り組みました。重点プロジェクトと基本構想別に、主な事業を紹介します。

重点プロジェクト	(単位: 万円)	健康長寿で元気なまちづくり
相馬福島道路伊達桑折IC周辺土地利用検討事業	687	健康づくりと医療の推進(新型コロナウイルス感染症予防事業、予防接種事業、特定健診など) 16,748
消防ポンプ車購入事業	2,250	地域福祉と障がい者福祉の推進(障がい者福祉扶助費、住民税非課税世帯臨時特別給付金事業など) 39,373
住宅用再生可能エネルギーシステム設備等設置費補助事業	345	高齢者福祉の推進(高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施、敬老の日記念事業など) 2,971
こおり健康楽会事業	293	生涯学習の推進(公民館運営推進員の配置) 702
学力向上対策事業	5,876	生涯スポーツの推進(スポーツ・健康講演会など) 212
桑折西山城まつり事業	999	子どもを大切にすまちづくり
活力と賑わいに満ちたまちづくり		子育て支援の充実(子ども医療費助成事業、子育て応援商品券給付事業、ネウボラ事業など) 10,245
農業の振興(地域おこし協力隊委託事業、営農再開支援事業、有害鳥獣対策事業など)	14,620	乳幼児保育と教育の充実(保育所運営業務、幼稚園運営業務、放課後児童保育事業など) 30,794
商工業の振興(空き店舗出店支援事業、商工業活力再生事業、商店街活性化推進事業)	233	学校教育の推進(特別支援教育の充実、学校施設の修繕改修事業、給食センター設備機器更新など) 6,605
コロナ・物価高騰対策事業(GoToEatこおり食事券発行事業、運送事業者等支援金給付事業など)	5,639	交流で絆を育むまちづくり
土地利用の推進(町都市計画マスタープランの見直し、蚕糸跡地利活用関連事業)	870	観光交流の振興(町民研修センター指定管理業務、農業振興活動拠点施設管理運営事業、桑折町振興公社運営補助など) 4,502
危機管理に備えた安全安心のまちづくり		歴史まちづくりの推進(桑折西山城跡を守る会事業補助金) 50
消防・防災の強化(伊達地方消防組合運営負担金、消防団活動費、防火貯水槽新設事業など)	27,244	移住・定住の促進(若者定住促進事業、新婚世帯家賃支援事業、移住支援給付事業など) 1,594
生活安全対策の推進(防犯対策事業、交通安全対策事業、消費者行政対策推進事業)	928	シティプロモーションの推進(献上桃の郷こおりシティプロモーション事業) 2,192
暮らしと自然が調和した豊かさを実感できるまちづくり		町民との共創と効率的な行財政運営
都市緑化・景観づくりの推進(緑地公園維持管理事業)	1,005	健全で持続可能な財政運営(ふるさと納税事業、マイナンバーカード交付推進業務など) 8,393
道路・交通ネットワーク整備(橋梁維持事業、町道新設改良事業など)	19,078	行政機能の充実強化(デジタルデバйд対策事業、行政手続きオンライン申請管理システム構築事業) 1,010
居住環境の充実(合併処理浄化槽設置整備補助事業、住生活基本計画策定事業、簡易水道組合調査業務など)	2,472	誰もが参加できるまちづくりの推進(第3次男女共同参画プラン策定業務、SDGs推進町会議事業費補助金など) 2,590
環境共生の推進(桑折地区かわまちづくり整備事業、ごみ再資源化活動奨励金事業)	1,327	広報・広聴の充実(広報こおり発行・町ホームページ運用管理業務) 437
森林環境の保全(ふくしま森林再生事業、森林病虫害防除事業、半田山自然公園管理業務委託)	6,123	災害復旧事業
環境衛生の充実(伊達地方衛生処理組合運営負担金、一般廃棄物収集運搬業務委託など)	11,808	令和4年3月本県沖地震に係る災害復旧事業(災害等廃棄物処理事業、昭和大橋ほか公共施設災害復旧事業など) 69,472

令和5年度

一般会計上半期予算状況

今年度の当初予算総額は60億9,260万円でしたが、その後の予算補正により9月末の予算現額は、64億4,843万円となりました。

予算補正の主なもの

伊達桑折IC周辺インフラ整備事業	4,261万円	福祉施設等電力・ガス価格高騰支援事業	1,530万円
住民税非課税世帯等への臨時特別給付事業	3,573万円	農業用資材等高騰緊急支援事業	453万円
こおりプレミアム商品券(第4弾)発行事業	1,896万円		



▲日ごろの成果を存分に発揮した醸芳中学校駅伝チームの皆さん（女子チームは17位）

区間	距離 (km)	選手名	学年	個人		チーム順位
				タイム	区間順位	
1	3.06	幕田成勢	2年	10分18秒	8位	8位
2	3.00	朽木悠翔	3年	9分18秒	1位	1位
3	3.00	國分 駈	2年	9分52秒	1位	1位
4	3.00	平井捷仁	2年	11分14秒	20位	1位
5	3.00	須田湧也	3年	10分30秒	2位	1位
6	3.00	吾妻浅黄	3年	10分48秒	9位	1位

第66回福島県中学校体育大会 駅伝競走大会県北地区予選で、醸芳中学校・男子チームが初優勝を果たしました。県北地区予選は9月5日、あづま運動公園内で行われ、第1区で区間8位と好スタートをきり、続く第2区では、区間新記録の走りで行く選手を「ごぼう抜き」。首位で襷を受けた第3区でも区間賞の力走で順位をキープ、続く第4・5・6区の粘りの走りで、首位を譲らずゴールテープを切り

襷でつないだみんなの想い 中学校駅伝県北地区予選で悲願の優勝

ました。「全員で県北大会優勝を勝ち取った。ラストスパートをしっかりとかけて、県大会でも上位入賞を目指す」と話す主将の朽木悠翔さん。駅伝部顧問の嵐田美美子教諭は「走ることが大好きで、猛暑の練習でも共に支え合い頑張ってきた醸芳中は、チームの絆と皆の応援を襷につなぎ、頂点を目指します」と次戦へ向けて意気込みを話しました。県大会は、10月4日、同所で行われます。



▶会田教育長から激励金を受け取る岡崎くん(左)

町は9月13日、剣道の全国大会が決まった岡崎 珀大くん(醸芳小6年)に、激励金を贈りました。会田智康教育長は「7月に引き続き、再び全国大会に出られることはとても素晴らしいこと。持てる力を存分に出し切り、さらなる活躍を期待する」

剣道の全国大会での活躍に期待 岡崎珀大さんへ激励金贈呈

と激励しました。岡崎くんは、9月17日に大阪府で開かれた第18回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会に、福島県代表の大将として出場。また、10月15日に埼玉県で開かれる全国道場少年剣道選手権大会第47回小学生男子の部に出場します。

第17回市町村対抗福島県軟式野球大会が9月9日、ヨーク開成山スタジアム(郡山市)で開かれ、須賀川市と対戦しました。試合は1回、先発投手の須藤翔選手が無失点に抑え、2回には大槻俊齊選手がタイムリーを放ち

町代表チーム奮闘 市町村対抗福島県軟式野球大会

先制。しかし、その裏に4失点、6回にも3失点を許し、1対7で最終回を迎えました。怒涛の攻撃で4点を返したものの、反撃及ばず5対7で試合は終了。惜しくも勝利を逃しましたが、最後まで諦めず、果敢に攻める選手らの姿がありました。



▶先発投手として力投をみせる須藤選手

命を大切に、今をしっかりと生きていく

たった一発の原子爆弾で、焼野原となった広島。大切な人たちが一瞬で消えてしまうなど誰も想像しなかったはず。78年後の広島は、青い空が広がり美しい街並みがありました。生き残った人たちが築き伝えてきたからこそ、戦争の怖さを知ることができます。私たちが歴史をつなぐために、命を大切に生きていくことが大切だと思いました。



醸芳小 岡崎 珀大さん

命の尊さ、平和に暮らせる幸せ

平和記念資料館に展示されている、原子爆弾で亡くなってしまった人たちの遺品を見て、当時の悲惨さを知り、このようなことは絶対にあってはならないと思いました。今回の学習では、命の尊さや平和に暮らせる幸せを感じ、今まで夏休みの1日に過ぎなかった8月6日の意味を知りました。またいつか広島に行き、平和について学びたいです。



醸芳小 亀岡 成さん

平和な世界への第一歩

一瞬で多くの命を奪う核兵器は、この世界に存在してはならないものだと思います。「命を大切にしてほしい」と語った被爆者や核兵器廃絶を願う演説した人の声が、今でも心に響いています。自分で目にし聞いた多くの人の心の叫びから学んだことを皆に伝え、一緒に考えていくことが、私にできる平和な世界を築くための第一歩だと思いました。



睦合小 佐藤 望美さん

平和な世界へ

平和記念資料館で見た亡くなった人々の絵やボロボロの学生服。現実起きたこととは思えず、胸が痛みました。過去は変えられませんが、過去から学ぶことはできます。私には、学んだことを伝える責務があり、家族や友達に伝え、皆が自分事として行動していくことで、その連鎖が世界を変えるきっかけとなる、それが私の希望です。



半田醸芳小 吾妻 竜芽さん

平和を未来へつなぐこと

平和学習に参加して、平和は願うだけでなく、未来へ伝え、つないでいかなければならないと強く思いました。平和のためには、ただ願うだけでなく行動し、願いや思いを言葉にすることが大切です。相手のためになることを進んでいき、平和がどんなにすばらしいことか自分の言葉で伝えていきます。私の一歩が、平和を未来へつなぐ一歩となるように。



伊達崎小 大槻 風奏さん

平和学習派遣事業が8月5日から7日に行われ、各小学校6年生の代表児童5人が参加しました。児童らは、広島市の平和記念式典に参列し、市長による平和宣言や子ども代表の平和への誓いを聞き、原爆の子の像に千羽鶴を奉納。被爆者体験講話では、

当時の惨状を語る生の声に触れることができました。また、平和記念資料館では、戦争や原爆の悲惨さを物語る資料を目の当たりにし、現実起こった出来事と真剣に向き合うなど、児童らは、戦争の恐ろしさや平和の尊さを熱心に学びました。

原爆投下の日に、広島を訪問 戦争の恐ろしさ、平和の尊さを学ぶ



1_各小学校6年生が折った千羽鶴を原爆の子の像に奉納 2_原爆死没者への鎮魂と未来の平和を共に誓った平和記念式典 3・4_資料館や原爆ドームを訪れ、戦争が残したものと同じ向き合いながら、平和について考える児童たち

アメリカ大使館職員来町 「献上桃の郷」現地視察



震災や原発事故などによる風評被害が残る中で、高品質な桃の生産を続けている桑折町。その力に秘められた生産者の思いや技術を知るため、米国大使館職員による現地視察が9月20日、町内で行われました。

来町したのは、米国大使館農務部職員のクレイグ・エリオットさん

1_ 役場を訪れたエリオットさん(中央)と倉井さん(左)
2_ 光センサー選果機の視察 3_ 脚立に登り、桃の収穫作業を体験するエリオットさん

三角地区物流団地(仮称) 進出予定企業から要望書提出

東北中央自動車道伊達桑折インターチェンジ北側(三角地区)で開発が進められている物流団地に立地予定の企業4社は8月25日、税制や雇用などに対する支援策についての要望書を町へ提出しました。

高橋町長は「物流団地の実現に向け、検討を続けていく」と回答しました。

同団地では、地域未来投資促進法を活用し、令和6年7月ごろの造成工事開始に向けて、各種手続きを進めています。



▶ 高橋町長(右)へ要望書を手渡す各企業代表の皆さん

農業分野11人目 地域おこし協力隊委嘱状交付

町特産桃の産地維持・継承を目的に、桃農家を目指す地域おこし協力隊の委嘱状交付式が8月31日、役場で行われました。

今回委嘱を受けたのは、神奈川県から移住された西野優香さん(下郡佐藤親さん)

上代)の元で、桃などの栽培技術・農業経営について学びます。交付式では「桃をはじめとした農作物の栽培技術などを農家の方から学ぶだけでなく、長年農業を営んでいる誇りも継承していきたい」と決意を述べました。

オリンピック田端健児さん来町 講演会&走り方教室

オリンピックによる講演会&走り方教室が9月3日、イコーゼで行われ、約50人が参加しました。講師は、陸上400mを専門に、1996年のアトランタ、2000年のシドニーオリンピックに出場した元ミズノトラッククラブ所属の田端健児さん。

「夢・目標をかなえるために」をテーマに、オリンピックとしての実体験などを講演しました。走り方教室では、参加した町内の小学生たちに、速く走るコツなどをアドバイスし、子どもたちは楽しみながら貴重な時間を過ごしました。



▶ 田端さんの的確なアドバイスをもとに走る子どもたち

旧伊達郡役所開庁140周年 企画展「桑折町の明治時代」

明治の文明開化の時代をしのぶ企画展「桑折町の明治時代」が8月19日から10月1日の間、開庁140年を迎えた旧伊達郡役所で開かれました。

企画展では、当時の郡役所や警察署など、擬洋風建築で整備された桑折

の町並みや近代産業のシンボル半田銀山など、新しい時代に移りゆく町の様子や人々の活躍を写した写真を展示。開催期間中には、小学6年生が授業で訪れ、自分たちが住む町を築き上げていった先人たちの思いや時代の変遷を学びました。

広告

桑折町公式 LINE



広報こおり・お知らせ版など町の情報がスマホに届く!

み 佐川急便による交通安全教室 みんなで確認！交通ルールとマナー

町では、幼児交通安全指導員が、幼児らに対し、自分の身を守るための交通ルールやマナーなどを教える交通安全教育を推進しています。その活動の一環として、町と「地域創生に関する包括連携協定」を締結している佐川急便株式会社による交通安全教室が9月6日、醸芳幼稚園で行われました。

当日は、信号機やトラックの模型を使ったクイズが出題され、信号の色の意味や車のウィンカーの意味などを確認しました。横断歩道を渡る場面の再現では、左右を見て大きく手をあげて渡る動作を一人一人が実演。また、園庭に駐車された佐川急便のトラック周辺を歩き、運転席から死角となる歩行者の位置を確認するなど、自分の身を守るためのルールやマナーを学習し、交通安全の意識向上を図りました。



▲横断歩道の渡り方や車の死角になる場所などを体験しながら学ぶ園児たち

伊 第1回桑折西山城講演会 達氏発祥の地を学ぶ

「桑折西山城を守る会」主催（町共催）の桑折西山城講演会が8月26日、イコーゼで行われ、約200人が参加しました。

福島大学の伊藤喜良名誉教授を講師に、「伊達植宗と桑折西山城奥州王を夢見た武将」の演題で、伊達政宗に至る基盤を作った植宗の実績や伊達氏の歴史に関する興味深い見解などを話されました。

参加者は「伊達氏の歴史について、わかりやすい解説で良かった」「関連する先生の著書をぜひ読んでみたい」などと話し、伊達氏発祥の地桑折町の深い歴史への関心を高めました。



▲桑折西山城や伊達植宗に関する貴重な話を紹介する伊藤名誉教授

心 家族介護者交流事業 とからだをリフレッシュ

在宅で介護をしている介護者同士の交流や心とからだのリフレッシュを目的とした家族介護者交流事業が9月1日、相馬市で行われました。

当日は、日ごろの悩みや介護に対する思いなどを介護者同士で話し合い、真言宗智山派長宗寺の早川智雄副住職による講演「継続的に続けられるセルフケア～手ぬぐい体操、心の取り扱い説明書～」を聞き、手ぬぐい体操を体験しました。昼食では、松川浦の海産物を堪能するなど、みんなで楽しく癒しのひとときを過ごしました。



▲早川副住職の動きに合わせて楽しく手ぬぐい体操を体験する参加者の皆さん

広告

広告

子 青少年育成町民会議大会 子どもたちの明るい未来のために

青少年が健やかに成長できるように、町や学校、PTA、町内会などで組織する町青少年育成町民会議の大会が9月13日、イコーゼで開催され、約110人が参加しました。

はじめに、令和4年度の事業報告や令和5年度の事業計画が協議され、当会の活動内容や目標を確認。青少年健全育成推進に向け、関係機関・団体の連携強化を図る大会宣言も行われました。また、「メディア依存がもたらすもの～いかに予防が大切か～」をテーマに、県立医科大学ふくしま子ども・女性医療支援センターの横山浩之教授による講演が行われ、ゲームなどによる依存症の怖さや対策、他市町村の事例などを紹介。参加者は、青少年を取り巻く現代社会のリスクと予防法を学び、健全育成推進に向けて理解を深めました。



▲メディア依存の怖さや予防法など、事例を交えながら話す横山教授

初 町消防団水難救助訓練 初めての水難救助訓練

大雨による浸水災害および水難捜索事案などに備え、町消防団本団主催の水難救助訓練が8月27日、ビーチパーク157で行われ、伊達地方消防組合中央消防署西分署の職員5人を講師に、消防団員約40人が参加しました。

当日は、第3分団に配備した救命ボートを活用し、ボート設置訓練や操舵訓練、溺れた人の救出訓練などを行いました。全国各地で多発する水害に備え、団員一人一人が共通の認識の下、実災害に対応できる体制を強化するための技術向上を図りました。



▲阿武隈川で救命ボートの操舵訓練を行う消防団員たち

自 住民自治協議会防災研修 助・共助の意識高める

各地区住民自治協議会を対象とした防災研修「災害図上訓練」が9月9日、イコーゼで行われ、60人が参加しました。

当日は、日本赤十字社福島県支部の職員を講師に、地域の防災マップを作成し、避難所や避難ルート、地域の特徴や災害時に役立つ情報を共有しました。近年、線状降水帯による大雨など、突発的な災害が全国各地で発生しています。研修を通して、普段からハザードマップを確認し、危険な場所を認識するなど、災害への備えや防災意識を新たにしました。



▲自分たちの地域の特徴や危険箇所を確認しながら図上訓練を行う参加者の皆さん

広告



HbA1cが5・6%〜6・4%の人へ

健康診断の結果で、「空腹時血糖」の値が「異常なし」の人も多いかと思われませんが、HbA1cが5・6%〜6・4%の人は、「食後高血糖」の可能性があります。

体内では、血糖値を下げるために膵臓からインスリンというホルモンが出ますが、「食後高血糖」の状態が続くとインスリンをたくさん作ることができなくなります。その結果、正常に血糖値を下げることができず、いつの間にか糖尿病になってしまふこともあるので注意が必要です。

測定しよう！気になる食後の血糖値
「血糖変動チェックプラン」を実施します！

自分で血糖値をチェックできる「血糖変動チェックプラン」を今年度も実施します。装着するだけで血糖推移がリアルタイムで“見える化”できる機器を装着し、2週間、自身の血糖値を確認して、生活習慣の改善・維持に役立ちます。

昨年度は約20人が参加しました。参加者からは「食後に測定したら血糖値がかなり高くなっていて驚いた」などの声が寄せられ、多くの人の生活習慣の改善につながりました。

参加の流れ

- 1 参加申込：10月13日(金)までに、下記へお申し込みください。
- 2 第1回セミナーに参加 (10月22日(日))
- 3 生活習慣の見直し期間・機器の送付
- 4 第2回セミナーに参加 (11月19日(日) 開催予定)
- 5 血糖変動チェック
- 6 第3回セミナーに参加 (12月10日(日) 開催予定)

参加要件

- 桑折町在住・在勤の人
- 糖尿病の治療中でないこと
- 連絡可能なメールアドレスを持っていること



健康福祉課 健康増進係 ☎582-1133

広告

健診結果を確認しよう
血液検査で分かる糖尿病

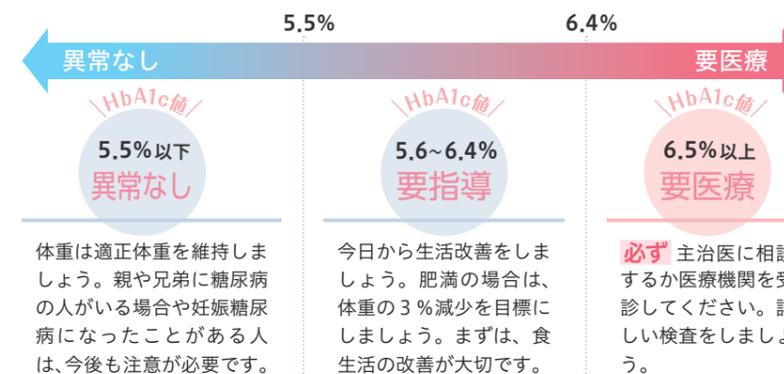
健康診断の血液検査に「HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）」の項目がありますが、何の検査かご存じですか。これは、糖尿病の検査の一つです。糖尿病は、ほとんどの場合、症状がないまま進行しますが、全身の健康に影響し、心筋梗塞や糖尿病性腎症（人工透析）、脳梗塞などの病気につながります。「HbA1c」の検査結果から、自分の体の状態を確認しましょう。

「HbA1c」とは

HbA1cは、過去2〜3か月の血糖の状態が分かる血糖検査です。町で実施している特定健康診査や後期高齢者健康診査、または職場で実施している健康診査でも実施している場合が多いので、まずは自分のHbA1cの値を確認してみましょう。



要チェック!! HbA1c値



血糖検査(HbA1c)が5.6%以上の者の割合

(要指導・要医療の割合)

	令和3年	令和4年
桑折町	58.6%	66.9% ↑8.3%増加
県	57.2%	60.1% ↑2.9%増加
全国	56.4%	57.1% ↑0.7%増加

(KDBシステムより)

町の特定健康診査の状況

令和3年および令和4年の状況（左記）をみると、令和3年の健診受診者のうちHbA1c値が5・6%以上の人（要指導・要医療）は58・6%でしたが、令和4年は66・9%と大幅に増えています。県や全国よりも多く、早い段階からの予防が必要な状況となっています。



広告

10 Oct.2023 Calendar

10/4 WED	特定・後期高齢者・各種がん検診 広報こおり10号・広報こおり「お知らせ版」★
5 THU	★
6 FRI	おはなし会 ★◆
7 SAT	醸芳幼稚園運動会・桑折学習塾（中学3年生）
8 SUN	◎ミツパチいたみと眠りのクリニック ☎572-5328
9 MON	◎北福島医療センター ☎551-0551
10 TUE	健康チェック&相談日・レディース健診 4・7か月児健診（R5年5月・2月生）
11 WED	離乳食教室 館長杯ポッチャ大会 ★
12 THU	
13 FRI	★◆
14 SAT	醸中祭
15 SUN	◎ほぼらクリニック ☎574-2522
16 MON	★
17 TUE	10・11か月児健診 （R4年10月・11月・12月生）
18 WED	広報こおり「お知らせ版」★
19 THU	認知症サポーター養成講座 ★
20 FRI	★◆
21 SAT	小学校学習発表会 桑折学習塾（中学生）
22 SUN	血糖変動チェックプラン第1回セミナー ◎もり医院 ☎577-7780
23 MON	★
24 TUE	すくすくカフェ「ママトーク」
25 WED	★
26 THU	★
27 FRI	◆
28 SAT	桑折学習塾（中学3年生・伊達崎小） 第48回桑折町文化祭
29 SUN	第48回桑折町文化祭 ◎遠藤内科医院 ☎582-6788
30 MON	★
31 TUE	
11/1 WED	広報こおり11月号 広報こおり「お知らせ版」★
2 THU	★
3 FRI	◎井上内科クリニック ☎581-2202

- 成人講座 ●子ども向け講座 ◎休日当番医
- ◆母子手帳交付・すくすくの日
（☎582-6045）へ事前にご連絡ください。
- 【子育て支援センター】：イコーゼ 10:00～11:30
- ♥ベビールーム（1か月～1歳5か月ごろのお子さんと保護者）
- ★キッズひろば（1歳6か月ごろ～就園前のお子さんと保護者）

管理栄養士のおすすめレシピ

秋野菜の ミルクカレースープ

塩分
1.0g



- 材料（4人分）
- 鶏もも肉 …… 160g
 - さつまいも …… 120g
 - れんこん …… 120g
 - にんじん …… 1/2本
 - しめじ …… 1/2房
 - バター（またはサラダ油） …… 10g
 - 水 …… 400ml
 - 固形ブイヨン… 8g（2個）
 - 牛乳 …… 400ml
 - 塩 …… 少々
 - カレー粉 …… 大さじ1（6g）
 - パセリ（粉末） …… 少々

【1食分の栄養価】 エネルギー 208kcal/たんぱく質14.0g / 脂質8.4g / カルシウム146mg / 鉄1.7mg / 塩分1.0g

■作り方

- 野菜はよく洗い、さつまいもとれんこんは皮つきのまま厚さ5mm程のいちょう切りにする。にんじんは皮をむき、1cm角に切る。
- しめじは石づきを切り落としたり、さっと水で流して手で食べやすい大きさにほぐす。
- 鶏肉はひと口大に切る。
- 鍋にバターを熱してAを炒め、さらにカレー粉を加えて炒める。全体がしんなりしたら水と固形ブイヨンを加えて弱火で煮る。
- 野菜が柔らかくなったら、牛乳を加えてひと煮立ちさせる。
- 器に盛り、お好みでパセリを振る。

ここがポイント!



秋野菜が楽しくて、具たくさんでおかずにもなるスープを考案しました。スープにすることで具材から溶け出した栄養素を無駄にせず摂取することができます。また、不足しがちなカルシウムが牛乳からとれて、きのこ類に含まれるビタミンDが吸収を高めます。
管理栄養士課程実習生 佐藤玲奈さん

check

「ベジチェック出張測定会」のお知らせ

野菜摂取量の目安は、1日350gです。手のひらを機器にのせるだけで、野菜摂取量が分かる「ベジチェック」について、出張測定会を実施します。
※こおり健康ポイント事業対象です。

- 内容 サロンや団体、企業などに健康福祉課職員が出向き、ベジチェックの測定を実施します。
- 申込先 代表者は、希望する日時を電話でお知らせください。健康福祉課 健康増進係 ☎582-1133



「ほめられたことがないので、どうほめていいかわからない」「子どもが悪いことばかりしているので、一つも、ほめるところがない」などの話を耳にします。そこで今月はほめ方について、皆さんと考えていきたいと思います。

NEWS

叱るよりほめて



「ほめる」って
どういうこと?

ほめることは「それでいいよ」「それでOK（大丈夫）だよ」と子どもに知らせるポジティブサインです。「それでいいよ」と知らせることで、もともと備わっている「子どもの育つ力」がより育ち、発達に応じた方向へ導くことができます。子どもの行動が良いのか悪いのか教えていないのに、悪い時だけ「違うでしょ!」「駄目でしょ」「バカなんだから!」とマイナスな言葉ばかりを言ってしまわないように気をつけることが大切です。

では、
何をほめたら
いいの?

普段の生活の中にほめることはたくさんあります。大人はどうしても良い結果や大きな変化が見られた時にのみ、ほめてしまいがちですが、「できて当たり前」のことで、ほめてあげましょう。ほめられたことは「ポジティブな経験」となり、次の行動や意欲につながります。

ほめる時の 4つのポイント

1 良いと思ったことを、 すぐにその場でほめましょう

例 朝、自分で起きてきた

大人 自分で起きてきたんだね。お利口さん。

子の気持ち 泣かないで起きたらほめられた。こうすればいいんだ!明日もそうしてみよう。

2 工夫や頑張り、 前よりできるようになったところを 見つけたらほめましょう

例 昨日よりごはんを食べた

大人 昨日よりごはん食べられたね!偉いよ!

子の気持ち ごはんを食べたらほめられた。次はもっと食べてみよう!

3 他の子と比べないでほめましょう

例 泣かずに待っていた

泣かないで待ってんだね!偉かったよ!

大人 (〇〇ちゃんはできなかったけど) などとは言わない。
※比べられると、子ども自身も他人の評価が気になる子になってしまいます。

子の気持ち 泣かずに待っていたらほめられた。泣かないで待ってればいいんだ。

4 機嫌を取る、うわべだけで ほめるのではなく、良い行動が 見られたらその都度ほめましょう

例 片付けが上手にできた

大人 次に使う時に出しやすくなったね。部屋が広くなったね!

子の気持ち 次も頑張って片付けよう。次は〇〇も片付けてみようかな。 など

チェック

普段の生活の中に、ほめる要素はたくさんあります。「良いな」「頑張ったな」「また、やってほしいな」と思った行動は、すかさず言葉や態度で表現してほめるようにしましょう。「嬉しい」「ありがとう」「助かった」などの言葉も忘れずに伝えるとさらに良いでしょう。

Information
イベント情報

開庁140周年記念
旧伊達郡役所・誕生祭



明治の息吹を感じる旧伊達郡役所と紅葉の名所「陣屋の杜公園」を会場に、開庁140周年を祝うイベントを開催。この日限りのカフェや、着付け体験などを楽しめます。また、日本で最古の自転車と言われる「三元車」のレプリカ展示も行います。

日程 11/3 (金・祝)

場所 旧伊達郡役所、陣屋の杜公園

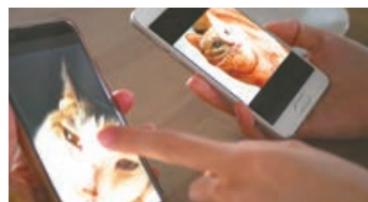
▼詳しくはこちら



入場
無料



町文化祭 特別企画
わが家のペット写真展



大切なわが家のペットの写真を募集します。動物は、犬・ねこ・うさぎ・かめ・鳥・ハムスターなど、種類は問いません。かわいい! 笑える! 癒される! あなたの自慢のペットの写真を、町文化祭で展示してみませんか。

日時 10/28 (土)・29 (日)
9:30-16:00 (29日は15:30まで)

場所 町民体育館

▼応募方法ははこちら



入場
無料

提出期限
10/23

図書だより

遊学館「よも〜よ」 ☎ 582-5388

今月のおすすめ / ファンタジーの世界へ



一般書

■レーエンデ国物語
多崎礼：著（講談社）

行こう、あなたと。家を抜け出して、少女は銀霧が舞う森へと旅に出る。家に縛られてきた貴族の娘ユリアは、英雄の父と旅に出る。呪われた地・レーエンデで出会ったのは、琥珀の瞳を持つ寡黙な射手トリストランだった。はじめての友達、はじめての仕事、はじめての恋を経て、やがてユリアはレーエンデ全土の混乱に巻き込まれていく。
シリーズ2作目まで所蔵しています。



児童書

■カトリと眠れる石の街
東曜太郎：著
まくらくらま：イラスト（講談社）

19世紀後半のスコットランドの都市、エディンバラ。街の中にまん延する眠り病の原因が、自分が住んでいる旧市街の中にあるのではとリズに指摘されたカトリは、ふたりで眠り病の原因をつきとめに行く。眠り病の原因を探し求めるふたりは、次第に旧市街が隠している「大きな秘密」がわかってきて…。対照的なふたりが謎を解きあかす、ミステリーファンタジー!

マルベリーこおり

図事務局 ☎ 582-3129

スポーツの秋に体を動かしませんか

マルベリーCUP 第7回バドミントン大会

年齢・性別・レベル問わず、どなたでも参加できます。家族や友達、気の合う仲間と楽しくプレーしましょう。

- 日時 11月26日(日) 9:00~12:30
- 場所 釧路中学校 体育館
- 参加料 1組 1,000円
- 競技種目 ダブルス

①エンジョイ☆ファミリーの部
(小学生と保護者)

②一般の部 (中学生以上)

- 参加条件 町内在住・在勤の人
※個人での参加も大歓迎!
- 申し込み 11月17日(金)までに事務局へ電話で申し込みください。



1_芸術の秋に自分だけの作品づくり。香りも見た目も癒され、至福のひとつ 2_「溶かす・混ぜる・固める」の簡単3ステップでアロマ石鹸の出来上がり 3_水ようかん風の涼しげな石鹸が完成



温かい音色に魅了
マリンバコンサート

成人講座「マリンバコンサート」が9月15日、イコーゼで行われ、鴨田早希さん(町在住)と飯野未奈美さんが奏でる温かみのある音色に、多くの観客が魅了されました。山形県出身で高校まで同じ学校で学んだ二人は、町内の各種イベントや施設で、マリンバと打楽器を使った演奏活動を行っています。この日は、銀河鉄道999やマツケンサンバIIなど、懐かしい名曲を披露。幼いころから共に過ごした二人の息の合った演奏に、大きな拍手が送られました。



名物ガイドと巡る
秋の奥会津観光ツアー

成人講座「名物バスガイドと巡るツアー」が8月18日、イコーゼで行われ、43人が参加しました。全国からオファーが殺到する、福島交通(株)バスガイドの八巻ひろえさんが、この秋おすすめの日産地を案内。スクリーンに観光スポットの写真を映し出し、バスに乗った気分、桑折町から奥会津まで移動。美しい紅葉やおすすめのご飯処、道の駅のお土産情報まで、県内各地の知る人ぞ知る情報をたっぷりご紹介いただき、楽しいツアーとなりました。



4年ぶりの料理教室
簡単カステラ作り

キッズスクール「簡単カステラ作り」が9月10日、睦合公民館で行われました。コロナ禍は調理活動を控えていたため、約4年ぶりの実習となりました。はじめに、牛乳パックで型づくりに挑戦。その後、ハチミツとみりんを隠し味に加えた生地を作り、オーブンで焼き上げました。オーブンをのぞき込むこと約45分、ふっくらと膨らんだカステラが完成。部屋中に広がる甘い香りに、笑顔こぼれる子どもたち。熱々の状態で持ち帰り、家族に振る舞いました。

INVITING COMMUNITY
ZONE FOR EVERYONE

生涯学習だより

香りに癒されて
和菓子風アロマ石鹸づくり

成人講座「和菓子風アロマ石鹸づくり」が9月7日、イコーゼで行われ、15人が参加しました。

Aromatic Petit(福島市)の小林香代子さんを講師に招き、水ようかん風のアロマ石鹸づくりに挑戦。電子レンジで溶ける石鹸を使って、水色や紫色のマール模様土台を作り、その上に砂糖菓子のような色とりどりの花や動物型のパーツを配置。最後に、気持ちを明るくしてくれる効果があるグレープフルーツの香りがするアロマオイルと透明の石鹸を温めて流し込み、全体をコーティングして固めました。透明でキラキラした宝石のような仕上がりに、参加者は大満足の様子でした。

石鹸を乾燥させている間、アロマの効能や香りごとの癒し効果についてお話をいただき、アロマセラピーが、私たちの心や体にどのように作用するのかについて理解を深めました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS | ごみ減量化インフォメーション 生活環境課 ☎582-2123

農作業で出た枝などの処分

摘葉・摘果 剪定枝など → 「事業系ごみ」として 直接搬入 → 処分費 130円/10kg

農業で出たごみは、全て「事業系ごみ」に分類されます。地域のごみ収集所への搬出はできません（不法投棄扱いとなり違法です）。摘葉・摘果・剪定枝などの作業で出たごみなどの事業系ごみを処分する場合は、伊達地方衛生処理組合に直接搬入し、重量に応じた金額（130円/10kg）を支払い、処分する必要があります。金額は重量で変動するため、重量が軽くなれば、料金も安価となります。処分する際は、搬入する前に、数日間乾かしてから出すようにしましょう。

! 農業用プラスチック類・農薬・金属類は、産業廃棄物です。伊達地方衛生処理組合では受け入れできませんので、専門業者へ処分を依頼してください。

10月は環境美化月間です

10月は環境美化月間です。各町内会や会社などで清掃活動などを行うことがあると思います。コロナ禍でつながりが薄れがちだったご近所さんや仲間とのコミュニケーションの場として、互いに言葉を交わしながら活動するのも良いかもしれません。身近な側溝などのごみ拾いや土砂上げ、草刈りなどを実施して、きれいな町、きれいな地域づくりにご協力をお願いします。

なお、ごみの搬出の際は、分別や草木の乾燥などをしていただきますよう、ご理解とご協力をお願いします。



町のごみ排出量 ※1人1日あたりの排出量

令和5年7月 **1,076g** 前月比+143g 福島県平均(令和3年度)1,029g

分別で迷ったら… 伊達地方衛生処理組合のホームページで検索

桑折町公式ホームページ 企業バナー広告 大募集

- 掲載場所 暮らしの情報トップページ
- サイズ 横150px×縦60px
- 掲載料 1ヶ月5,000円

※連続掲載割引あり

詳細

広告



AMI SATO 高校に進学したら、実習で保育園を訪れ、子どもたちと触れ合うのが今から楽しみです。

わたしの夢
Dreams come true.

ピアノで子どもたちを笑顔に
佐藤 亜美さん（醸芳中3年生）

私の夢は、ピアノで子どもたちに幸せを届けられる保育士になることです。

私は、幼稚園のころからピアノを習い始め、今でも教室に通っています。中学生になり、将来のことを考え始めた時、大好きなピアノを活かせる仕事がしたいと思い、保育士を目指すように――。自分が奏でる音色と一緒に歌ったり踊ったりしながら、子どもたちが楽しく一日を過ごすことができたら嬉しいなと、日々夢を膨らませています。

保育科のある高校に進学し、将来保育士として子どもだけでなく保護者や他の先生からも信頼される人になるために、しっかりと勉強しながら、ピアノの練習も続けていきたいです。

こおりスマイル You have a good smile.

大槻 奏陽くん
お兄ちゃんと仲良く遊んでねママより♡

幕田 莉央ちゃん
1歳のお誕生日おめでとう！ママより♡

町民の皆さんの笑顔の写真を募集します。年齢は問わず、赤ちゃんから学生さん、大人の方まで大歓迎！
①最近撮影した写真 ②氏名（ふりがな）・性別 ③メッセージ（20字程度）を記入して応募してください。
【応募先】総合政策課
✉ seisaku@town.koori.fukushima.jp

二次元コードから簡単にメール送信できます▶

まちのお知らせ Town information. **マイナンバーカード申請サポート** 職員が出張して申請のお手伝いをします

役場職員が職場や町内会館、ご自宅などを訪問し、マイナンバーカードの申請をサポート！完成したカードはご自宅へ郵送します。

- 対象 企業や団体、家族、友人同士など（人数制限なし）
- 対応日時 原則、平日9:00～12:00 / 13:00～16:30の間
- お願い 会場手配、申請者取りまとめ、申請書配布などの準備は、申込団体をお願いします。

圖税務住民課 住民国保係 ☎582-2114

みんなのSDGs



お客さまに寄り添った作業を心掛けながら、SDGsの目標達成に取り組む皆さん

お客さまのためにより質の高い仕事を—— 省エネルギーを実現させ、環境に配慮

株式会社佐藤商会

「お客さまに信頼される会社」を目標に、車の修理や点検、販売業を営む株式会社佐藤商会の皆さん。平成28年の創業以来、安全でミスのない作業と丁寧な接客を心掛け、日々業務に励んでいます。代表取締役の佐藤洋介さんは「お客さまから修理を依頼された時は、無料でタイヤの状態を確認し、適切な空気圧に調整するだけでなく、燃費向上のためのアドバースなども行っている。一人一人が車の燃費を向上させ、省エネを推進することで、地球環境の保護につながれば」と話します。

他にも、車の修理相談の際は、中古部品を分解・洗浄し、消耗品などを交換した上で再度組み上げ検査・点検した「リビルト品」を使用したプランを提案する取り組みも行っています。リビルト品は、新品と同等の機能や性能を持ちながら、資源再利用のため環境にも優しく、さらに、リーズナブルで家計にも優しいため、物価が高騰している昨今において、お客さまの関心も高く好評を得ています。佐藤さんは「SDGsの目標達成に貢献できるよう、さらに知識とスキルを高めながら、より質の高い仕事をしていきたい」と力強く語りました。

【編集後記】

▶米国大使館職員のお二人の取材で、私も伊達果実農業協同組合の共選所を拝見。レーン上に一列に並んだ桃が、光センサーを通った後、自分が入るべき箱のところに向かって一斉に分かれていく様子は、ずっと見ていられるほどワクワクする光景でした。なにより、その流れの中で、あうんの呼吸で連携を取りながら作業をするスタッフの皆さんの機械にも負けない精密な手さばきに、私は釘付けになりました（大越）

◆人口（前月比）9月1日付

人口	計	11,095人	(-12)
※住民基本台帳/外国人含む	男	5,391人	(-9)
	女	5,704人	(-3)
世帯数		4,622世帯	(+4)
転入など	転入	27人	出生 2人
	転出	19人	死亡 22人

◆今月の納税

- ・町県民税（普通徴収3期）
- ・国民健康保険税（普通徴収4期）
- ・介護保険料（普通徴収4期）
- ・後期高齢者医療保険料（普通徴収3期）

期限 **10月31日** 必

◆住民票・戸籍・印鑑・税証明交付/印鑑登録/マイナンバーカード交付など窓口延長（毎週木曜日、午後7時まで。祝日除く。）

※当日下午5時までに税務住民課（☎582-2114）へ要予約。